

製本のススメ

Vol. 173

街は紅葉の見ごろです。昨年よりは少し色づきが良いのかなと思えますが、皆さんの街はいかがですか。今年も各地で災害の多い秋で、被害に会われた方々にはお見舞い申し上げますと共に、少しでも復興のお手伝いをしたいと思えます。

今回は**御朱印帳とお経本**の話し

最近 製本教室が各地で開かれているようで和本や御朱印帳の講座を時折見かけます。多くは文具店や書店のようですが 製本という分野がカルチャーの世界で広がりつつあるのは嬉しいことです。

さて御朱印帳とお経本 出来上がると形はどちらも蛇腹折で本の大きさが違う位かなと思われがちですが、実際には用途がちがいますので、作り方も全く変わります。

ご朱印帳は二つ折りを交互に重ねて張り合わせて作ります。これは本文の和紙に墨汁等が裏へ染みても大丈夫なようにしているためです（だからと言って絶対に染み出さないとは限りませんので アカズ）

お経本は 基本的には文字を書き込みませんので 用紙は 1 枚物で蛇腹折に加工していきます。

さて 本の大きさですが最近には色々なサイズの御朱印帳が出回っています。大雑把には書道の半紙を四分の一にした大きさが目安ですが、文具店などにはファンシーな表紙の物も多く A 5 サイズから B 6 サイズと規格の冊子が多いようです。御朱印をスタンプ集めのように思われる方も多くなりましたが、本来の意味では、**神社と寺社は分けておいたほうが良く使い分けが必要です**ね。ちなみに寺社の御朱印はダイナミックな物が多いと聞いていますので、御朱印帳は大きめの物を選ぶほうが良いでしょう。

余談ながら **井関製本では『製本教室』を たま〜に開いております。**また人数が四人以上であれば教室を開催いたしますのでご希望の方はご連絡下さい。



Teabreak

縁日は楽しいですね。今年の御酉様は二の酉まで皆さんは行かれましたか？そもそも縁日は神様仏様に縁のある日ということで、それぞれに縁の深い特定の日がありました。干支によるもの・数字によるものが多くあります。特に数字によるものは8日～24日までが多く、これは月の満ち欠けが影響しているそうで、明るい月夜を選んでいそうです。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本